

平成23年度 シラバス	学年・期間・区分	3年次・通年・A群	
	対象学科・専攻	機械・電気電子・電子制御・情報・土木	
国語 III (Japanese III)	担当教員	松田信彦 (Matsuda, Nobuhiko)、小野益男 (Ono, Masuo)	
	教員室	一般科目棟 3階 (内線 9042)、共通棟 1階 非常勤講師室	
	E-Mail	n-matuda@kagoshima-ct.ac.jp、	
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義・演習 / 履修単位 / 単位数		
週あたりの学習時間と回数	授業 (100分) × 30回		
〔本科目の目標〕 現代文・古典に関わらず、作品を的確に理解し、鑑賞力・思考力・批判力を高め、自己の言語生活及び教養を豊かにする。また日本語の基礎事項および表現法を修得し、自分の考えを適切に表現する知識・技能を養うとともに、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。また特に日本語をとおして日本文化を考えることも目的とする。			
〔本科目の位置付け〕 1年次の「国語Ⅰ」、2年次の「国語Ⅱ」における、現代文・古文・漢文・言語の既修事項を踏まえて、深い教養を身につけ、よりよい社会生活を送るために、国語の総合力をのばす科目である。4年次の「日本語表現」へと発展する。			
〔学習上の留意点〕 本年度は、昨年度の教科書を引き続き使用し、さらなる作品理解に努めるだけでなく、総合的な国語力を高めるために、「パーフェクト演習」も使用して授業を進める。教科書のほか手持ちの国語便覧・国語辞典等を活用するとともに、日常生活の中での読書や新聞・テレビ・ラジオを視聴するときにも、常に自分の語彙力・表現力及び教養を豊かにする工夫をすること。			
〔授業の内容〕			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
【現代文】 1. 評論 「手を見つめる」	5	<ul style="list-style-type: none"> 段落ごとに筆者の論旨の展開を追うことで、筆者の意見を理解できる。 論理的な文章の構成を学び、論理の組み立て及び展開が理解できる。 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにできる 「身体感覚と自意識の発生 (対自的身体)」 「身体意識と他者性 (対他的身体)」について、理解し、まとめることができる。 	教科書の当該本文の音読をすること。 配布の予習プリントをすること。
2. 小説 「こころ」	9	<ul style="list-style-type: none"> 長編小説の主題を、場面の展開や人物の性格・心理描写から読みとることができる。 作品に描き出された人物像を通して、人生についての考えを深めることができる。 文体や修辞などの、表現上の特色をとらえることができる。 作者についての正しい知識を前提に、作品の成立した背景を十分に理解し、文学史上の位置づけを知ることができる。 	教科書の当該本文の音読をすること。 配布の予習プリントをすること。
---前期中間試験---		授業項目 1、2 について達成度を確認する。	
3. 評論 「Not I, not I...」	7	<ul style="list-style-type: none"> 段落ごとに筆者の論旨の展開を追うことで、筆者の意見を理解できる。 論理的な文章の構成を学び、論理の組み立て及び展開が理解できる。 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにできる 筆者の主張を逐いながら、人類学や経済学・哲学など、様々な考え方を理解できる。 日常の何気ない行為の中に意味の連関を見出し、神話や伝説に潜む人間の考えの原型について考察できる。 	教科書の当該本文の音読をすること。 配布の予習プリントをすること。
4. 評論 「虚ろなまなざし」	7	<ul style="list-style-type: none"> 段落ごとに筆者の論旨の展開を追うことで、筆者の意見を理解できる。 論理的な文章の構成を学び、論理の組み立て及び展開が理解できる。 語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにできる メディアの権力性ととともに、メディアを批判する側の動機に潜む怖れを分析し、主体性の幻想とその問題について理解できる。 	教科書の当該本文の音読をすること。 配布の予習プリントをすること。
---前期期末試験---		授業項目 3、4 について達成度を確認する。	
試験答案の返却・解説	2	試験において間違った部分を理解出来る。	

